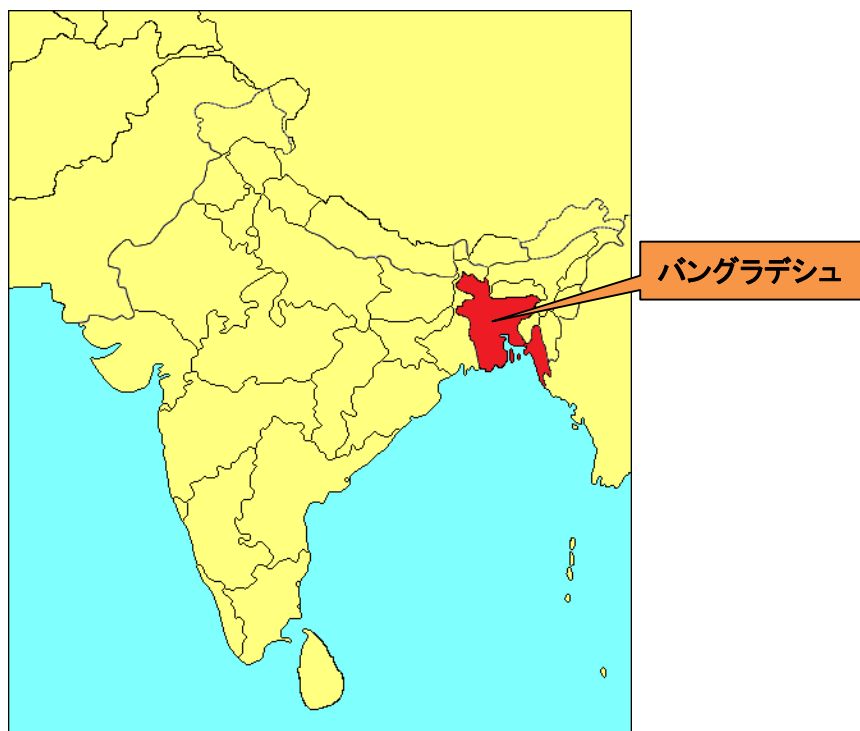


バングラデシュの炭疽流行終息宣言

2010年 10月25日 ProMed 情報 (The New Nation)



10月7日、バングラデシュ政府は、炭疽に対する非常事態を解除しました。8月18日に最初の患者が発生して以降、炭疽はバングラデシュ全土に拡がり、9月5日、政府は非常事態を宣言しました。その後、国内の牛肉、羊肉、牛乳の消費が激しく落ち込み、家畜産業や皮革製品などの流通がストップしました。9月18日以降、新たな発生(家畜)が報告されていないことから、人々が炭疽に対し必要以上に恐れないように、非常事態を解除しました。7月1日から9月30日までの3ヵ月間で、合計104頭の乳牛への感染が確認されました。乳牛への感染はこれまで2009年は449頭、2008年は437頭が報告されています。同国政府は、11月の第3週に行われる犠牲際(Eid-ul-Azha)を前に、感染が確認されたすべての地域に対し、家畜へのワクチン接種を終了しました。

ヒトへの感染は、8月18日から10月25日までの期間で607名報告されています。10月8日以降、新たな炭疽患者は報告されていません。